

【 疾病の成り立ちと回復の促進 】

授業科目	疾病と治療(総論): 疾病の成り立ち	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	15
		テスト時間	1(45分)
学習目標	1. 健康から疾病に至る変化の過程を日常生活との関連で理解する。 2. さまざまな疾病がもたらす身体内部の変化を理解する。		
回	授業計画・内容	授業方法	
1回	1. 病理学で学ぶこと 1) 病気の原因 ①内因 ②外因 ③公害病・医原病(薬害)・職業がん 2. 先天異常と遺伝子異常 1) 遺伝の生物学 2) 先天異常 3) 遺伝子の異常と疾患 4) 先天異常・遺伝子異常の診断と治療	講義	
2回	3. 細胞・組織の障害と修復 1) 細胞の損傷と適応 ①細胞の適応現象(萎縮 肥大と過形成) ②細胞の死(壊死 アポトーシス) ③細胞と細胞の変性 2) 組織の修復と創傷治癒 ①組織の再生 ②肉芽組織と瘢痕組織 ③一次治癒と二次治癒 ④創傷治癒に影響する因子	講義	
3回	4. 代謝障害 1) 脂質代謝障害 2) タンパク質代謝障害 3) 糖尿病 4) その他の代謝障害	講義	
4回	5. 循環障害 1) 浮腫 2) 充血とうっ血 3) 出血 4) 血栓症 5) 塞栓症 6) 虚血と梗塞(壊疽) 7) 側副循環による障害 8) ショック 9) 高血圧症 10) 播種性血管内凝固症候群(DIC)	講義	
5回	6. 炎症と免疫、移植と再生医療 1) 炎症とその分類 2) 免疫と免疫不全 3) アレルギーと自己免疫疾患 4) 移植と再生医療	講義	
6回	7. 感染症 1) 感染と宿主の防御機構 2) 主な病原体と感染症 3) 感染症の治療と予防 ①抗菌薬と薬剤耐性菌 ②院内感染 ③感染症法と検疫 ④予防接種 8. 老化と死 1) 個体の老化と老年症候群 2) 加齢に伴う諸臓器の変化 3) 個体の死と終末期医療	講義	
7回	9. 腫瘍 1) 腫瘍の定義と分類 2) 悪性腫瘍の広がりや影響 3) 腫瘍の発生病理 4) 腫瘍の診断と治療 5) 腫瘍の統計	講義	
8回	まとめ	講義	
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門基礎 病理学 疾病の成り立ちと回復の促進①(医学書院)		
参考文献			

授業科目	疾病と治療(総論):麻酔・術前・術後管理	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	6
		テスト時間	試験別
学習目標	1. 様々な機能障害を治療するときに共通する外科的療法と麻酔について理解する。		
回	授業計画・内容	授業方法	
1回	1. 外科患者の病態の基礎 1)「外科患者」のアセスメント 2)身体侵襲と生体の反応	講義	
2回	2. 外科的治療を支える分野 1)麻酔法 (1)全身麻酔 (2)局所麻酔 2)術前の管理	講義	
3回	3)呼吸管理(酸素療法と機械的人工換気) 4)体液・栄養管理(輸液法 周手術期の輸液管理) 5)術後の管理 6)緩和医療(手術後の疼痛緩和)	講義	
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論(医学書院)		
参考文献	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論(医学書院) 系統看護学講座 専門 I 臨床看護総論 基礎看護学④(医学書院)		

授業科目	疾病と治療（総論）：放射線診断	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	2
		テスト時間	試験別
学習目標	1. 様々な機能障害の放射線診断を理解する。		
回	授業計画・内容	授業方法	
1回	<p>1. 放射線医学のなりたちと意義</p> <p>1) 医療における放射線医学の役割</p> <p>2) 放射線医学の歴史</p> <p>2. 画像診断</p> <p>1) 画像診断と看護</p> <p>2) X線診断</p> <p>3) CT</p> <p>4) MRI</p> <p>5) 超音波検査</p> <p>6) 核医学検査</p> <p>7) IVR・血管造影</p>	講義	
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学（医学書院）		
参考文献	系統看護学講座 専門I 臨床看護総論 基礎看護学④（医学書院）		

授業科目	疾病と治療（総論）：放射線治療	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	2
		テスト時間	試験別
学習目標	1. がん放射線治療とその看護について理解する。		
回	授業計画・内容	授業方法	
1回	<p>1. 放射線治療総論</p> <p>①放射線治療の原理 ②放射線治療の基礎</p> <p>③正常組織の有害反応と耐容線量 ④治療可能比</p> <p>⑤放射線治療の特徴と目的</p> <p>⑥照射法の種類（外部照射 小腺源治療 内部照射療法）</p> <p>2. 放射線治療各論</p>	講義	
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学（医学書院）		
参考文献	系統看護学講座 専門Ⅰ 臨床看護総論 基礎看護学④（医学書院）		

授業科目	疾病と治療(総論):緩和医療	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	4
		テスト時間	試験別
学習目標	1. 緩和医療を理解する。		
回	授業計画・内容		授業方法
1回	1. 緩和医療学と緩和ケア 1) 緩和医療学 2) 緩和ケアの基本的考え方と対象 2. 緩和医療が目ざすもの 1) 全人的苦痛の理解 2) チーム医療の意義 3) 家族のケア		講義
2回	3. 全人的苦痛の緩和 1) 身体的苦痛の緩和 (1) 疼痛症状とその病態 (2) 疼痛の緩和 (3) オピオイドの使用法 (4) オピオイド使用時の問題点と対応 (5) 疼痛以外の症状への対応 2) 精神的苦痛の緩和 3) 社会的苦痛の緩和 4) スピリチュアルペインの緩和 5) 苦痛緩和のための鎮静		
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門 I 臨床看護総論 基礎看護学④(医学書院)		
参考文献			

授業科目	疾病と治療 I (中枢神経・感覚機能障害と治療) :眼	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	4
		テスト時間	試験別
学習目標	1. 感覚器(眼)機能の障害とその検査・治療について理解する。		
回	授業計画・内容	授業方法	
1回	1. 症状とその病態生理 1) 視機能に関連した症状 2) 視機能に関連しない症状 2. 疾患の理解 1) 機能の障害 ①屈折の異常 ②調節の異常 ③色覚の異常 ④弱視 ⑤眼位・眼球運動の異常	講義	
2回	2) 部位別の疾患 ①眼瞼の疾患 ②結膜の疾患 ③涙器の疾患 ④角膜の疾患 ⑤強膜の疾患 ⑥ブドウ膜の疾患 ⑦網膜・硝子体の疾患 ⑧水晶体の疾患 ⑨緑内障 ⑩眼球・眼窩の疾患 ⑪視神経・視路の疾患 3) 外傷 3. 検査と治療 1) 検査 ①視力検査 ②屈折検査 ③開瞼法 ④眼瞼反転法 ⑤細線灯顕微鏡検査 ⑥眼底検査 ⑦眼底画像検査 ⑧眼圧検査 ⑨隅角検査 ⑩瞳孔検査 ⑪眼球突出検査 ⑫涙液分泌検査 ⑬視野検査 ⑭色覚検査 ⑮調整力検査 ⑯眼位検査 ⑰眼球運動・幅湊・複視の検査 ⑱両眼視機能検査 ⑲ERG 検査 ⑳超音波検査 ㉑放射線診断 2) 治療 ①点眼法 ②洗眼法 ③眼帯 ④注射 ⑤涙管ブジー ⑥光凝固 ⑦冷凍凝固 ⑧屈折矯正 ⑨視能強制 ⑩義眼 ⑪麻酔・手術		
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 眼 成人看護学⑬(医学書院)		
参考文献			

授業科目	疾病と治療 I (中枢神経・感覚機能障害と治療) :脳神経内科	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	8
		テスト時間	試験別
学習目標	1. 中枢神経機能の障害とその治療について理解する。		
回	授業計画・内容	授業方法	
1回	1. 疾患の理解 1) 中枢神経系の疾患 ①脳血管障害 ②脳脊髄液の異常(水頭症) 2) 脊髄疾患	講義	
2回	3) 末梢神経障害 ①多発性ニューロパチー(多発性神経炎) ②おもな多発性ニューロパチー (糖尿病性ニューロパチー ギランバレー症候群 CIDP) ③単神経障害(手根管症候群) 4) 筋・神経筋接合部疾患 ①筋ジストロフィー ②筋炎 ③重症筋無力症	講義	
3回	5) 脱髄・変性疾患 ①脱髄疾患(多発性硬化症) ②脳・神経の変性疾患 (パーキンソン病 脊髄小脳変性症 筋萎縮性側索硬化症) 6) 脳・神経系の感染症 ①髄膜炎 ②脳炎 ③その他の神経系感染症(クロイツフェルトーヤコブ病) 7) 中毒(一酸化炭素中毒)	講義	
4回	8) てんかん 9) 認知症 ①認知症を呈するおもな疾患 (アルツハイマー病 脳血管性認知症 レビー小体型認知症 前頭側頭型認知症) 10) 内科疾患に伴う神経疾患	講義	
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 脳・神経 成人看護学⑦(医学書院)		
参考文献			

授業科目	疾病と治療Ⅰ（中枢神経・感覚機能障害と治療） ：脳神経外科	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	11
		テスト時間	1(45分)
学習目標	1. 中枢神経機能の障害の検査と治療について理解する。		
回	授業計画・内容	授業方法	
1回	1. 脳神経系の構造と機能 1) 神経系の分類と機能 2) 中枢神経系 3) 末梢神経系	講義	
2回	2. 症状とその病態 1) 脳・神経障害とは 2) 主な症状とその病態 ①意識障害 ②高次脳機能障害 ③運動機能障害 ④感覚機能障害 ⑤反射性運動の障害		
3回	症状とその病態 ⑥頭蓋内圧亢進症状と脳ヘルニア(頭蓋内圧亢進 脳ヘルニア)		
4回	3. 検査・診断と治療・処置 1) 検査 ①神経学的診察 ②補助的検査法 (画像診断、脳血管撮影、脳波検査、脳脊髄液検査) 2) 治療 ①外科的治療法 (開頭手術、穿頭術、V-P シヤント術、脳血管内治療など) ②内科的治療法 (薬物治療 血漿交換療法 その他)		
5. 6回	4. 疾患の理解 1) 中枢神経系の疾患 ①脳血管障害 ②脳腫瘍 ③頭部外傷 ④脳脊髄液(髄液)の異常 2) 脊髄疾患		
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 脳・神経 成人看護学⑦(医学書院) 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 第4章(医学書院)		
参考文献			

授業科目	疾病と治療Ⅰ(中枢神経・感覚機能障害と治療) :耳鼻咽喉	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	6
		テスト時間	試験別
学習目標	1. 感覚器(耳鼻咽喉)機能の障害とその治療について理解する。		
回	授業計画・内容	授業方法	
1回	1. 症状とその病態生理 1) 耳にあらわれる症状と病態生理 2) 鼻にあらわれる症状と病態生理 3) 口腔、唾液腺、咽頭にあらわれる症状と病態生理 4) 喉頭にあらわれる症状と病態生理 2. 検査と治療 3. 疾患の理解 1) 耳疾患 ①外耳疾患 ②中耳疾患 ③内耳・後迷路性疾患	講義	
2回	3. 疾患の理解 2) 鼻疾患 ①外鼻疾患 ②鼻腔疾患 ③副鼻腔疾患		
3回	3. 疾患の理解 3) 口腔・咽喉頭疾患 ①口腔疾患 ②咽頭疾患 ③唾液腺疾患 ④喉頭疾患 4) 気道・食道・頸部疾患と音声・言語 ①気道・食道の疾患 ②頸部疾患 ③音声・言語障害		
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 耳鼻咽喉 成人看護学⑭(医学書院) 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 第5章(医学書院)		
参考文献			

授業科目	疾病と治療Ⅱ(呼吸・循環・造血機能障害と治療) :呼吸器	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	10
		テスト時間	試験別
学習目標	1. 呼吸機能の障害の検査と治療について理解する。		
回	授業計画・内容	授業方法	
1回	1. 呼吸器の構造と機能 2. 症状とその病態生理 3. 検査	講義	
2回	4. 呼吸機能の障害とその治療 1) 感染症 ①かぜと急性気管支炎 ②インフルエンザ ③肺炎 ④結核 2) 間質性肺疾患		
3回	4. 呼吸機能の障害とその治療 3) 気道疾患 ①気管支喘息 ②気管支拡張症 ③慢性閉塞性肺疾患 4) 肺血栓塞栓症		
4回	4. 呼吸機能の障害とその治療 5) 呼吸不全 ①呼吸不全の病態生理 ②急性呼吸窮迫症候群 ③肺性心 6) 呼吸調整に関する疾患 ①過換気症候群 ②睡眠時無呼吸症候群		
5回	4. 呼吸機能の障害とその治療 7) 肺腫瘍 ①良性腫瘍 ②悪性腫瘍(原発性肺がん 転移性肺腫瘍) 8) 胸膜・縦隔・横隔膜の疾患 ①胸膜の疾患(自然気胸) ②縦隔の疾患 ③横隔膜の疾患 9) 胸部外傷		
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 呼吸器 成人看護学②(医学書院)		
参考文献			

授業科目	疾病と治療Ⅱ(呼吸・循環・造血機能障害と治療) :循環器	対象学年・時期	1年次・後期		
		単位数	1		
		時間数	30		
講師名	医師	講義時間	13		
		テスト時間	1(45分)		
学習目標	1. 循環機能の障害の検査と治療について理解する。				
回	授業計画・内容	授業方法			
1回	1. 循環器の構造と機能 2. 症状とその病態生理	講義			
2・3回	3. 疾患の理解と治療 1) 虚血性心疾患 安定冠状動脈疾患/急性冠症候群/冠状動脈硬化の危険因子				
4回	2) 心不全;病態とその分類(左心不全と右心不全)				
5回	3) 血圧異常:高血圧の基準・分類とその影響/本態性高血圧/二次性高血圧 本態性低血圧 4) 不整脈:徐脈性不整脈/頻脈性不整脈				
6回	5) 弁膜症 僧房弁狭窄症/僧房弁閉鎖不全症/大動脈弁狭窄症 大動脈弁閉鎖不全症/その他の弁膜症/感染性心内膜炎 6) 心膜炎:急性心膜炎/心タンポナーデ/慢性心膜炎 7) 心筋疾患:心筋症/心筋炎/心臓の腫瘍 8) 先天性心疾患 動脈開存症/心房中隔欠損症/心室中隔欠損症 ファロー四徴症/完全大血管転位(換)症				
7回	9) 動脈系疾患 大動脈瘤/大動脈解離/動脈の閉塞性疾患(閉塞性動脈硬化症) 10) 静脈系疾患 血栓性静脈炎・静脈血栓症/深部静脈血栓症/静脈瘤 肺塞栓症⑤上大静脈症候群 11) リンパ系疾患 ①リンパ肝炎 ②リンパ節炎 ③リンパ浮腫				
評価方法	筆記試験				
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 循環器 成人看護学③(医学書院)				
参考文献					

授業科目	疾病と治療Ⅱ(呼吸・循環・造血機能障害と治療) :血液・造血器	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	6
		テスト時間	試験別
学習目標	1. 造血機能の障害の検査と治療について理解する。		
回	授業計画・内容	授業方法	
1回	<p>1. 検査・診断と症候・病態生理</p> <p>1) 病歴聴取と身体所見 ①貧血 ②発熱 ③リンパ節腫脹・脾腫 ④出血傾向</p> <p>2) 検査 ①末梢血検査 ②骨髄穿刺・骨髄生検 ③出血傾向の検査 ④リンパ節生検 ⑤細胞表面マーカー検査 ⑥染色体検査 ⑦遺伝子検査</p> <p>3) 症候とその病態生理 ①貧血 ②白血球増加症 ③白血球減少症 ④脾腫 ⑤リンパ節腫脹 ⑥出血性素因</p>	講義	
2回	<p>2. 疾患と治療の理解</p> <p>1) 赤血球系の異常 ①鉄欠乏性貧血 ②鉄代謝異常によるその他の貧血 ③巨赤芽球性貧血 ④再生不良性貧血 ⑤溶血性貧血</p> <p>2) 白血球系の異常 ①無顆粒球症 ②顆粒球機能異常症 ③伝染性単核球症</p>		
3回	<p>3) 造血器腫瘍 ①造血器腫瘍とは ②造血器腫瘍の分類 ③急性白血病(AL) ④骨髄異形成症候群 ⑤慢性骨髄性白血病(CML) ⑥骨髄増殖性腫瘍 ⑦慢性リンパ球性白血病(CLL) ⑧成人T細胞白血病リンパ腫(ATL) ⑨悪性リンパ腫 ⑩骨髄腫および類縁疾患(多発性骨髄腫) ⑪血球貧食症候群</p> <p>4) 出血性疾患 ①血管異常による出血性疾患 ②血小板異常による出血性疾患(ITP)(TTP) ③凝固異常による出血性疾患 ④播種性血管内凝固症候群(DIC)</p>		
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 血液・造血器 成人看護学④(医学書院)		
参考文献			

授業科目	疾病と治療Ⅲ(吸収・代謝・排泄機能障害と治療) : 消化器	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	13
		テスト時間	1(45分)
学習目標	1. 栄養摂取(食)障害の検査と治療について理解する。 2. 肝機能、脂質・尿酸代謝の障害と治療について理解する。		
回	授業計画・内容	授業方法	
1回	1. 疾患の治療と理解 1) 食道の疾患 ①食道がん ②食道アカラシア ③胃食道逆流症	講義	
2回	2) 肝臓・胆嚢の疾患(主に外科的な治療対象) ①肝(臓)がん ②肝外傷 ③胆石症 ④胆管がん ⑤胆嚢がん ⑥胆嚢ポリープ 3) 膵臓の疾患 ①膵(臓)がん		
3回	4) 胃・十二指腸疾患 ①機能性ディスぺプシア(機能性胃腸症) ②胃炎 ③胃・十二指腸潰瘍 ④胃がん		
4回	4) 腸疾患 ①過敏性腸症候群 ②腸炎 ③腹膜炎		
5回	5) 肝臓・胆嚢の疾患(主に内科的な治療対象) ①肝炎(ウイルス性肝炎) ②肝硬変症 ③門脈圧亢進症 ④肝不全 ⑧急性胆嚢炎および胆管炎 ⑨肝寄生虫疾患 6) 膵臓の疾患 ①膵(臓)炎		
6回	7) 腸および腹膜疾患 ①虫垂炎 ②ヘルニア③イレウス(腸閉塞症) ④腸内寄生虫疾患 ⑤消化管憩室 ⑥ポリープおよびポリポーシス ⑦結腸がん、直腸がん ⑧肛門疾患 6) 急性腹症 7) 腹部外傷		
7回	2. 検査と治療 1) 診察と診断の流れ 2) 検査 ①糞便検査 ②肝機能検査 ③栄養状態のアセスメント ④膵外分泌機能検査 ⑤超音波検査 ⑥内視鏡検査 ⑦肝生検 ⑧放射線検査 ⑨CT ⑩MRI ⑪肝シンチグラフィ ⑫PET 2) 治療 ①薬物療法 ②栄養療法・食事療法 ③手術療法 ④放射線療法 3、まとめ		
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 消化器 成人看護学⑤(医学書院)		
参考文献			

授業科目	疾病と治療Ⅲ(吸収・代謝・排泄機能障害と治療) : 歯・口腔	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	2
		テスト時間	試験別
学習目標	1. 歯・口腔機能障害と治療について理解する。		
回	授業計画・内容	授業方法	
1回	<p>1. 症状とその病態生理</p> <p>1) 顎口腔機能障害</p> <p>①呼吸障害 ②開口障害 ③咀嚼障害・嚥下障害 ④言語障害</p> <p>⑤味覚障害</p> <p>2. 疾患の理解</p> <p>1) 歯の異常と疾患</p> <p>①齲蝕および歯髄疾患 ②その他の硬組織疾患</p> <p>③歯の形成・発育異常</p> <p>2) 歯周組織の疾患</p> <p>①歯肉炎 ②辺縁性歯周炎(歯槽膿漏) ③智歯周囲炎</p> <p>3) 齲蝕に続発する疾患(顎骨の炎症)</p> <p>4) 口腔粘膜の疾患</p> <p>5) 口腔領域の嚢胞</p> <p>6) 口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患</p> <p>7) 口腔領域の悪性腫瘍</p> <p>8) 歯と顎骨の外傷</p> <p>9) 口腔領域の先天異常および発育異常</p> <p>10) 顎関節の疾患</p> <p>11) 唾液腺の疾患</p>	講義	
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 歯・口腔 成人看護学⑮(医学書院)		
参考文献			

授業科目	疾病と治療Ⅲ(吸収・代謝・排泄機能障害と治療) :泌尿器	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	8
		テスト時間	試験別
学習目標	1. 排泄機能の障害の検査と治療について理解する。 2. 男性生殖器の障害と治療を理解する。		
回	授業計画・内容	授業方法	
1回	1. 疾患の理解 1) 尿路・性器の感染症 ①非特異性感染症 ②特異性感染症 ③性感染症 2) 尿路の通過障害と機能障害 ①水腎症・尿管症 ②膀胱尿管逆流 ③神経因性膀胱 ④尿失禁 ⑤前立腺肥大症 3) 尿路損傷および異物 ①腎損傷 ②尿管損傷 ③膀胱損傷 ④尿道損傷 ⑤膀胱・尿道異物 ⑥陰茎折症	講義	
2回	4) 尿路結石症 ①腎結石症・尿管結石症 ②膀胱結石症 ③尿道結石症 5) 尿路・性器の腫瘍 ①腎実質腫瘍 ②腎盂および尿管がん ③膀胱がん ④尿道がん ⑤前立腺がん ⑥精巣腫瘍 ⑦陰茎がん 6) 発生・発育の異常 ①腎臓の先天異常 ②腎盂・尿管の先天異常 ③膀胱の先天異常 ④尿道の先天異常 ⑤精巣の先天異常(停留精巣) ⑥性分化疾患 7) 男性不妊症、男性性機能障害、その他の男性生殖器疾患 ①男性不妊症 ②男性性機能障害 ③その他の男性生殖器疾患	講義	
3・4回	2. 症状とその病態 3. 検査と治療・処置 1) 検査 ①尿の検査 ②分泌物検査 ③腎機能検査 ④画像検査 ⑤経尿道的操作および内視鏡検査 ⑥尿流動態検査 ⑦生検 ⑧性・生殖機能の検査 2) 治療と処置 ①尿路感染症の治療 ②手術療法 ③腎・泌尿がんの治療 4) 排尿管理 ①自己導尿 ②排尿の自立訓練 5) 腎移植	講義	
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 腎・泌尿器 成人看護学⑧(医学書院)		
参考文献			

授業科目	疾病と治療Ⅲ(吸収・代謝・排泄機能障害と治療) :腎	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	6
		テスト時間	試験別
学習目標	1. 腎機能障害の検査と治療について理解する。		
回	授業計画・内容	授業方法	
1回	1,腎臓の構造と機能 2.検査と治療・処置 1) 診察 2) 検査 ①腎機能検査 ②画像検査 3) 治療と処置 ①腎疾患の内科的治療の基本 4) 透析療法 ①血液透析 ②腹膜透析 ③持続血液透析濾過法 3,疾患の理解 1) 腎不全と慢性腎臓病 ①急性腎不全 ②慢性腎不全 ③慢性腎臓病(CKD)	講義	
2回	2) ネフローゼ症候群 3) 糸球体腎炎 4) 全身性疾患による腎障害		
3回	5) 尿細管間質性腎炎 6) 腎血管性病変 7) 尿細管機能異常		
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 腎・泌尿器 成人看護学⑧(医学書院)		
参考文献			

授業科目	疾病と治療Ⅳ(内部環境・生体防御機能障害と治療) :内分泌・代謝	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	15
		テスト時間	1(45分)
学習目標	1. 内分泌機能障害の検査と治療について理解する。 2. 代謝機能の障害と治療について理解する。		
回	授業計画・内容	授業方法	
1回	1. 内分泌・代謝器官の構造と機能	講義	
2回	2. 代謝の概要 3. 検査 1) 内分泌疾患の検査 2) 代謝疾患の検査 4. 症状とその病態生理		
3回	5. 疾患の理解 1) 内分泌疾患 ①視床下部－下垂体前葉系疾患 ②視床下部－下垂体後葉系疾患 ③甲状腺疾患(慢性甲状腺炎、バセドウ病、甲状腺機能低下症)		
4回	1) 内分泌疾患 ①副甲状腺疾患 ②副腎疾患 ③性腺疾患 ④膵・消化管神経内分泌腫瘍 ⑤多発性内分泌腫瘍症 ⑥内分泌疾患の救急治療		
5回	2) 代謝疾患 ①糖尿病		
6回	2) 代謝疾患 ①糖尿病(合併症) ②脂質異常症		
7回	3) メタリックシンドローム 4) 高尿酸血漿		
8回	6. 人間の進化と生活習慣による疾病の発症とその対策		
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 内分泌・代謝 成人看護学⑥(医学書院)		
参考文献			

授業科目	疾病と治療Ⅳ(内部環境・生体防御機能障害と治療) :膠原病 感染症	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	4
		テスト時間	試験別
学習目標	1. 免疫機能障害の検査と治療について理解する。		
回	授業計画・内容	授業方法	
1回	1. 免疫膠原病総論 1) 症状とその病態 (1) 関節痛・関節炎 (2) レイノー現象 (3) 皮膚・粘膜症状 (4) 発熱 (5) タンパク尿 (6) 筋力低下 2) 検査と治療 (1) 検査 ①一般検査 ②血清・免疫学的検査 ③感染症の検査 (2) 治療 ①一般療法 ②薬物療法 ③感染症の治療	講義	
2回	2. 膠原病各論 1). 疾患の理解 (1) 関節リウマチ (2) 全身性エリテマトーデス (3) 全身性強皮症 (4) 多発性筋炎、皮膚筋炎 (5) 混合性結合組織病 (6) 血管炎症候群 (7) シェーグレン症候群 (8) ベーチェット病 2). HIV 感染症と日和見感染症 (1) HIV 感染症 (2) 日和見感染症		
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ アレルギー 膠原病 感染症 成人看護学⑩(医学書院)		
参考文献			

授業科目	疾病と治療Ⅳ(内部環境・生体防御機能障害と治療) :アレルギー	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	4
		テスト時間	試験別
学習目標	1. 免疫機能障害(アレルギー)の検査と治療について理解する。		
回	授業計画・内容	授業方法	
1回	1. 免疫のしくみとアレルギー 1)免疫反応と病気 2)アレルギーに関与する免疫担当細胞と化学物質 ①免疫担当細胞 ②化学物質 3)アレルギーのしくみ ①アレルギー反応の分類としくみ ②アレルゲンの種類 2. 検査と治療 1)検査と診断 ①診断までの流れ (血液検査、スキンテスト、その他の検査(誘発試験・除去試験)) 2)治療 ①薬物療法 ②減感作療法	講義	
2回	3. 疾患の理解 1)気管支喘息 2)アレルギー性鼻炎 3)アトピー性皮膚炎 4)薬物のアレルギー 5)アナフィラキシー 6)蕁麻疹 7)接触性皮膚炎 8)食物アレルギー		
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ アレルギー・膠原病・感染症 成人看護学⑩(医学書院)		
参考文献			

授業科目	疾病と治療Ⅳ(内部環境・生体防御機能障害と治療) :皮膚	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	6
		テスト時間	試験別
学習目標	1. 皮膚障害の検査と治療について理解する。		
回	授業計画・内容	授業方法	
1回	1.皮膚の構造と機能 2.検査と治療・処置 1)診察と診断の流れ 2)検査 ①皮膚科的検査法 ②病原微生物の検査法 ③病理組織検査法 ④分子生物学的検査法 3)治療・処置 ①全身療法 ②外用療法 ③手術療法 ④光線療法 ⑤レーザー療法 ⑥放射線療法 ⑦電気外科 ⑧凍結療法 ⑨温熱療法 ⑩ケミカルピーリング	講義	
2回	3. 疾患の理解 1)表在性皮膚疾患 ①湿疹・皮膚炎群(湿疹、アトピー性皮膚炎、) ②蕁麻疹群 ③痒疹 ④紅斑症 ⑤薬疹 ⑥紅皮症(剥脱性皮膚炎) ⑦水疱症 ⑧膿疱症 ⑨角化症(角皮症) ⑩炎症性角化症 2)真皮・皮下脂肪織および皮膚附属器の疾患 3)脈管系の異常による皮膚疾患 4)物理・化学的皮膚傷害		
3回	3. 疾患の理解 1)腫瘍および色素異常症 2)感染症 ①一般細菌感染症 ②皮膚結核 ③ハンセン病 ④真菌感染症 ⑤ウィルス感染症(帯状疱疹) ⑥性感染症(梅毒) ⑦寄生虫・動物が関与する疾患(疥癬)		
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 皮膚 成人看護学⑫(医学書院)		
参考文献			

授業科目	疾病と治療Ⅴ(運動機能障害と治療) :運動器	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	15
講師名	医師	講義時間	10
		テスト時間	1(45分)
学習目標	1. 運動機能障害の検査とその治療について理解する。		
回	授業計画・内容	授業方法	
1回	1.運動器の構造と機能 2.症状とその病態生理	講義	
2回	3. 診断・検査と治療・処置 1) 診察・診断の流れ 2) 検査 ①画像検査 ②骨密度の測定 ③電気生理学的検査 ④関節鏡 ⑤その他の検査 3) 治療・処置 ①保存療法(非観血的治療) ②手術療法		
3回	4. 疾患の理解 1) 骨折 ①骨折とは ②各種の骨折 2) 脱臼 ①脱臼とは ②各種の脱臼 3) 捻挫および打撲 ①捻挫 ②打撲 4) 神経の損傷 ①脊髄損傷 ②末梢神経損傷 5) 筋・腱・靭帯などの損傷 6) 先天性疾患		
4回	7) 骨・関節の炎症性疾患 ①骨髄炎 ②化膿性関節炎 ③骨・関節結核 ④変形性関節症 ⑤関節リウマチ ⑥痛風 ⑦強直性脊椎炎 ⑧その他リウマチ性疾患 8) 骨腫瘍および軟部腫瘍		
5回	9) 代謝性骨疾患 10) 筋および腱の疾患 11) 脊椎の疾患 ①頸部脊椎症性(頸椎症性)脊髄症・神経根症 ②頸椎後縦靭帯骨化症 ③腰椎椎間板ヘルニア ④腰椎分離症および脊椎圧迫症 ⑤変形性脊椎症(腰部脊柱管狭窄症) ⑥骨粗鬆症 ⑦脊椎過敏症 ⑧二分脊椎(脊椎破裂) ⑨脊椎腫瘍 ⑩脊椎の姿勢異常 ⑪背痛および腰痛 12) 下肢及び下肢帯の疾患 13) ロコモティブシンドロームと運動器不安定症		
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 運動器 成人看護学⑩(医学書院)		
参考文献			

授業科目	疾病と治療Ⅴ(運動機能障害と治療) :リハビリテーション	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	15
講師名	理学療法士	講義時間	4
		テスト時間	試験別
学習目標	1. リハビリテーション概論及びリハビリテーション看護を理解する。		
回	授業計画・内容	授業方法	
1回	1. リハビリテーション概論 1)リハビリテーションの定義と理念 2)リハビリテーション医療の提供 2. 運動器系の障害とリハビリテーション看護 1)骨折のリハビリテーションプログラム 2)障害とリハビリテーション看護	講義	
2回	3. 中枢神経系の障害とリハビリテーション看護 1)脳血管障害のリハビリテーションプログラム 2)障害とリハビリテーション看護		
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 運動器 成人看護学⑩(医学書院) 系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護(医学書院)		
参考文献			

授業科目	疾病と治療Ⅵ(生殖機能の障害と治療) :女性生殖器	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	15
講師名	医師	講義時間	9
		テスト時間	1(45分)
学習目標	1. 女性生殖器(子宮・附属器等)機能障害の検査と治療について理解する。		
回	授業計画・内容	授業方法	
1回	1.女性生殖器の構造と機能 2.症状とその病態生理	講義	
2回	3. 診察・検査と治療・処置 1) 診察・検査 ①理学的検査 ②病理検査 ③細菌・ウイルス・原虫検査 ④画像診断 ⑤腫瘍マーカー検査 ⑥妊娠検査 ⑦内視鏡検査 ⑧染色体検査・遺伝子検査 2) 治療・処置 ①膣洗浄 ②膣タンポン ③導尿 ④腹腔穿刺 ⑤ダグラス窩穿刺 ⑥レーザー治療 ⑦診察・治療器具 ⑧薬物療法 ⑨手術 ⑩避妊		
3回	4. 疾患の理解 1) 性分化疾患 ①半陰陽 ②性染色体異常 ③遺伝子変異による性分化異常 2) 臓器別疾患 ①外陰の疾患 ②膣の疾患 ③子宮の疾患 (子宮頸管炎、子宮内膜症、子宮腺筋症、子宮筋腫)、		
4回	③子宮の疾患 (子宮頸がん、子宮体がん、絨毛性疾患) ④卵管の疾患 ⑤卵巣の疾患(卵巣腫瘍) ⑥骨盤内炎症性疾患		
5回	3) 機能的疾患 ①月経異常・月経随伴症状 ②更年期障害 ③不妊症 ④不育症 4) 感染症 ①性感染症 (梅毒、淋疾、尖圭コンジローマ、膣トリコモナス症、 クラミジア感染症、HIV 感染症、単純ヘルペスウイルス感染症) ②性器結核		
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 女性生殖器 成人看護学⑨(医学書院)		
参考文献			

授業科目	疾病と治療Ⅵ(生殖機能の障害と治療) :乳腺	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	15
講師名	医師	講義時間	5
		テスト時間	試験別
学習目標	1. 乳腺の機能障害の検査と治療について理解する。		
回	授業計画・内容	授業方法	
1回	1. 乳腺の構造と機能 2. 診察・検査と治療・処置 1) 診察・検査 ①主訴 ②視診 ③症状 ④触診 ⑤乳頭分泌の診断 ⑥画像検査(マンモグラフィ診断) ⑦超音波診断 ⑧病理組織学的検査 3. 疾患の理解 1) 乳腺良性腫瘍 2) 乳腺良性腫瘍性疾患 3) 発生・発育の不良 4) 炎症	講義	
2. 3回	3. 疾患の理解 1) 乳がん(乳腺悪性疾患) 2) 乳がんの治療 ①手術療法 ②ホルモン療法 ③化学療法 ④分子標的薬 ⑤放射線療法		
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 女性生殖器 成人看護学⑨(医学書院)		
参考文献			

授業科目	疾病と治療Ⅶ(小児に特徴的な機能障害と治療)	対象学年・時期	2年次・前期
		単位数	1
		時間数	15
講師名	医師	講義時間	14
		テスト時間	1(45分)
学習目標	1. 小児の成長発達段階にある対象に起こりやすい機能障害と治療を理解する。		
回	授業計画・内容	授業方法	
1回	1. 小児医療と機能障害 1) 発達・発育過程で生じる機能障害 2) 児童虐待 2. 遺伝子・染色体異常と形態異常 1) 先天異常 3. 代謝・内分泌疾患 1) 先天性代謝異常 2) I・II型糖尿病	講義	
2回	4. 免疫・アレルギー症状を呈する健康障害と治療 5. 特徴的な感染症と治療		
3回	6. 特徴的な呼吸機能障害と治療 7. 特徴的な消化機能障害と治療		
4回	8. 特徴的な循環機能障害と治療		
5回	9. 特徴的な腎・泌尿器の障害と治療 10. 特徴的な運動機能障害と治療		
6回	11. 特徴的な神経・筋の機能障害と治療 12. 急性な症状を呈する健康障害 13. 外科的治療の対象となる健康障害と治療 14. 特徴的な皮膚・感覚機能障害と治療		
7回	15. 新生児の特徴的な機能障害と治療	15. については「母性看護学各論」のテキスト使用	
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 小児臨床看護各論 小児看護学②(医学書院) 系統看護学講座 専門Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学②(医学書院)		
参考文献			

授業科目	疾病と治療Ⅷ(精神障害と治療)	対象学年・時期	2学年・前期
		単位数	1
		時間数	15
講師名	医師	講義時間	14
		テスト時間	1(45分)
学習目標	1. 精神障害とその診断基準および検査・治療を理解する。		
回	授業計画・内容	授業方法	
1回	1. 精神疾患について 1) 精神障害者の抱える症状の理解 (1) 脳の部位と精神機能 ①神経系の分類と機能 ②神経伝達物質と精神機能	講義	
2回	2. 精神症状の原因 1) 精神症状の種類 ①知覚障害 ②思考の障害 ③自我意識の障害 ④感情の障害 ⑤意欲・行動の障害 ⑥意識障害 ⑦知能の障害 ⑧記憶障害 ⑨強迫思考・強迫行為 2) 状態像 ①不安状態 ②心気状態 ③幻覚妄想状態 ④抑鬱状態 ⑤精神運動興奮状態 ⑥昏迷状態 ⑦無為・自閉状態 ⑧引きこもり状態 3. 精神障害の検査の種類と治療 1) 精神障害の主な検査の種類 ①脳波検査・脳の画像検査 ②心理検査 ③脳脊髄液検査 2) 精神障害の主な治療 ①薬物療法 ②電気痙攣療法(m-ECT 修正版) ③社会復帰療法(デイケア、レクリエーション) ④精神療法(個人精神療法、集団精神療法、認知行動療法) ⑤リハビリテーション療法(作業療法、芸術療法、生活技能訓練)		
3回	4. 主な精神障害の診療 1) 主な精神障害 ①統合失調症 ②気分障害(躁鬱病) ③神経症と心因性精神病 ④人格障害		
4回	⑤器質性精神病(認知症)		
5回	⑥てんかん		
6回	⑦生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群(睡眠障害) ⑧症状精神病 ⑨アルコール依存と薬物依存		
7回	5. 中枢神経障害 1) 中枢神経症状 ①身体的愁訴 ②神経科領域(身体症状) 2) 中枢神経の症状と種類 ①失語 ②失行 ③失認 3) 児童・思春期の主な精神障害 ①発達障害(精神遅滞、自閉症、注意欠陥・多動性障害) ②神経症性障害(不登校、家庭内暴力、摂食障害) ③児童・思春期の境界例		
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅰ 精神看護の基礎(医学書院) 系統看護学講座 専門Ⅰ 精神看護の展開(医学書院)		
参考文献			

授業科目	看護形態機能学		対象学年・時期	1年次・後期
			単位数	1
			時間数	30
講師名	看護師		担当時間数	29
			テスト時間	1(45分)
学習目標	1. 看護を学ぶに当たり、人間はどのような体の構造(仕組み)を使って生きているのか、日常生活行動を営んでいるのかを理解する。 2. 体の仕組みが障害された時、それが生きていることや、日常生活行動にどう影響するのかを理解する。			
回数	主題	学習内容及び方法		授業方法
1回	何のための生活行動か	1) 生きているとはどういうことか 2) 個体を外界から区別するもの－皮膚		講義
2～3回	内部環境の恒常性	1) 体液の分類と量 2) 体液の電解質 3) 血漿のPH 4) 動脈血の酸素分圧 5) 血漿の糖分 6) 体温		
4～5回	恒常性維持のための流通機構	1) 流通の媒体－血液 2) 流通路 3) 流通の原動力		
	恒常性維持のための調節機構	1) 神経性調節 2) 液性調節 3) ストレスと恒常性維持		
6～7回	日常生活行動・息をする	1) 息を吸う・息を吐く 2) ガス交換		
8回	日常生活行動・動く	1) 姿勢 2) 神経から筋への指令と筋の収縮 3) 意図的でない運動－反射 4) 意図的な運動－随意運動 5) 骨格・骨格筋・関節 6) 日常生活での基本的動き		
9回	日常生活行動・眠る	1) 人はなぜ眠くなるのか 2) からだのリズム 3) 眠り 4) 睡眠の主観的評価		
10回	日常生活行動・子どもを生む	1) 男と女 2) 遺伝子組み換え 3) 性交と受精 4) 赤ちゃん 5) 生殖を支えるホルモン 6) 出産		
11回	日常生活行動・話す・聞く	1) 声を出す 2) 聞く 3) 言葉		

12回	日常生活行動 ・お風呂に入る	1) 皮膚と付属物 2) 皮膚と粘膜 3) 温まる	
13回	日常生活行動 ・食べる	1) 食欲 2) 食行動 3) 咀嚼し味わう 4) 嚥下 5) 消化と吸収	
14回 15回 (45分)	日常生活行動 ・トイレに行く	1) 排尿 2) 排便	
評価方法	筆記試験		
テキスト	看護形態機能学（日本看護協会出版会） ヘルスアセスメント（日本看護協会出版会）		
参考文献			

授業科目	栄養学（物質の代謝／食事療法）	対象学年・時期	1年次・前期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	管理栄養士	講義時間	29
		テスト時間	1（45分）
学習目標	栄養素の消化・吸収・代謝および生理作用について学び、人間にとっての栄養の意義 および健康障害時の食事療法の基本を理解する。		
回	授業計画・内容	授業方法	
1回	1. 人間栄養学と看護	講義	
2回	2. 栄養素の種類とはたらき		
3回	3. 食物の消化と栄養素の吸収・代謝		
4回	4. エネルギー代謝		
5回	5. 食事と食品		
6回	6. 栄養ケア・マネジメント		
7回	7. 栄養状態の評価・判定		
8回	8. ライフステージと栄養① 乳児期・幼児期・学童期・思春期・青年期・成人期における栄養		
9回	9. ライフステージと栄養② 妊娠期・授乳期・更年期・高齢期における栄養		
10回	10. 臨床栄養① 病院食、経腸・静脈栄養他		
11回	11. 臨床栄養② 疾病・症状別食事療法の実際		
12回	12. 臨床栄養③ 糖尿病（食品交換表の使い方）		
13回	13. 臨床栄養④ 腎・血液・食物アレルギー疾患、骨・咀嚼・嚥下		
14回	14. 臨床栄養⑤ 場面別栄養管理、がんの食事療法		
15回(45分)	15. 健康づくりと食生活		
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門基礎 栄養学 人体の構造と機能③（医学書院） 糖尿病食事療法のための食品交換表（文光堂）		
参考文献			

授業科目	微生物学	対象学年・時期	1年次・前期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	非常勤講師	講義時間	29
		テスト時間	1 (45分)
学習目標	1. 健康状態を脅かす（感染症を引き起こす）微生物の基礎知識を学ぶ。 2. 感染を起こす病原微生物について理解する。 3. 感染を予防する滅菌と消毒について理解する。 4. 感染症の現状とその対策を理解する。		
回数	主題	学習内容及び方法	授業方法
1回	イントロダクション 細菌の性質1	微生物学を学ぶ意義を知る。/ 重要な病原体である細菌の構造について学ぶ	講義
2回	細菌の性質2	細菌がどのようにして増殖するのかを学ぶ	講義
3回	真菌、原虫、ウイルスの性質	真菌、原虫、ウイルスについて、細菌との違いを中心に理解する	講義
4回	感染と発病	病原体がいかにして感染し病気を起こすのかを理解し、それを防ぐための方策について考える	講義
5回	滅菌と消毒/ 化学療法	滅菌の原理と意義を学ぶ/ 化学療法の原理と薬剤耐性菌について学ぶ	講義
6回	免疫の成立	病気に対する免疫がいかにしてできるか理解する	講義
7回	免疫応答と感染防御	免疫反応による感染防御や免疫反応を利用した検査法や予防接種について理解する	講義
8回	グラム陽性球菌	黄色ブドウ球菌とレンサ球菌について学ぶ	講義
9回	グラム陰性球菌とグラム陰性好気性桿菌	淋菌、髄膜炎菌、緑膿菌、アシネトバクター、百日咳菌などについて学ぶ	講義
10回	通性嫌気性菌	大腸菌などの腸内細菌科細菌やコレラ、ピロリ菌などについて学ぶ	講義
11回	抗酸菌、芽胞産生菌、スピロヘータ、マイコプラズマ	結核菌、破傷風菌、ボツリヌス菌、梅毒、マイコプラズマなどについて学ぶ	講義
12回	クラミジア、リケッチア/ウイルスの性質	クラミジア、リケッチアについて学ぶ/ ウイルスがいかんして増殖感染するか理解する	講義
13回	ウイルス (1)	ウイルスによる様々な疾病について学ぶ	講義
14回	ウイルス (2) 真菌、原虫	真菌や原虫によって引き起こされる様々な疾病について学ぶ	講義
15回 (45分)	まとめ		
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門基礎 微生物学 疾病のなりたちと回復の促進④(医学書院)		
参考文献			

授業科目	薬理学	対象学年・時期	1年次・後期		
		単位数	1		
		時間数	30		
講師名	薬剤師	講義時間	29		
		テスト時間	1 (45分)		
学習目標	1. 薬理学の基礎知識を理解する。 2. 健康障害に対する薬物療法の作用機序、人体への影響について理解する。				
回	授業計画・内容	授業方法			
1回	1. 薬理学を学ぶにあたって 1) 薬理学とはなにか 2) 薬による病気の治療	講義			
2回	2. 薬理学の基礎知識 1) 薬が作用するしくみ (薬力学) 2) 薬の体内の挙動 (薬物動態学) 3) 薬理相互作用 4) 薬効の個人差に影響する因子 5) 薬物使用の有益性と危険性 6) 薬と法律				
3回	3. 抗感染症薬 1) 感染症治療に関する基礎事項 2) 特殊な感染症の治療薬				
4回	4. 抗がん剤 5. 免疫治療薬 1) 免疫抑制薬 2) 免疫増強薬・予防接種薬				
5回	6. 抗アレルギー薬・抗炎症薬 1) 抗ヒスタミン薬と抗アレルギー薬 2) 炎症と抗炎症薬 3) 関節リウマチ治療薬 4) 痛風・高尿酸血症治療薬 5) 片頭痛治療薬				
6回	7. 末梢での神経活動に作用する薬物 1) 神経系による情報伝達 2) 自律神経系作用薬 3) 交感神経作用薬 4) 副交感神経作用薬 5) 筋弛緩薬・局所麻酔薬				
7.8回	8. 中枢神経系に作用する薬物 1) 中枢神経系のはたらきと薬物 2) 全身麻酔薬 3) 催眠薬・抗不安薬 4) 抗精神病薬 5) 気分障害治療薬 6) パーキンソン症候群治療薬 7) 抗てんかん薬 8) 麻薬性鎮痛薬				
9.10回	9. 心臓・血管系に作用する薬物 1) 抗高血圧薬 2) 狭心症治療薬 3) 心不全治療薬 4) 抗不整脈薬 5) 利尿薬 6) 脂質異常症治療薬 7) 血液に作用する薬物 (抗血液凝固薬、血栓溶解薬及び抗血小板薬)				
11回	10. 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物				
12回	11. 物質代謝に作用する薬物 1) ホルモンとホルモン拮抗薬 (血糖降下薬) 2) 治療薬としてのビタミン				
13回	12. 皮膚科用薬・眼科用薬 13. 救急の際に使用される薬物 14. 漢方薬				
14回	15. 消毒薬 16. 輸液製剤 17. 血液製剤				
15回	復習・まとめ				
評価方法	筆記試験				
テキスト	系統看護学講座 専門基礎 薬理学 疾病のなりたちと回復の促進③(医学書院)				
参考文献					